



2022
JANUARY 19
14:00-17:30

International Recovery Forum 2022

国際復興フォーラム2022

オンライン生配信
及び
神戸国際会議場



復興を通じたレジリエンス構築のためのシステムの再設計： 仙台防災枠組の中間点における進捗状況と残された課題の評価

Redesigning Systems for Resilienc through Recovery:
Assessing Progress and the Unfinished Agenda at the Midpoint of the Sendai Framework



パネルディスカッション1：仙台防災枠組実施に向けた
Build Back Betterより(良い復興)における過去6年間の進捗状況と課題の評価

パネルディスカッション2：復興を通じたレジリエンス構築のためのシステムの再設計：
2030年に向けてBuild Back Better(より良い復興)をより進めるためのアジェンダ設定



ORGANIZERS:

国際復興支援プラットフォーム (IRP)、内閣府、兵庫県、
アジア防災センター (ADRC)、国連防災機関 (UNDRR)



SUPPORTED BY:

外務省
NHK神戸放送局

参加申し込み方法は、こちらの2次元バーコードを
読み込むか、以下のリンクにアクセスし、
登録フォームにご記入ください。

申し込み先ウェブサイト：<https://bit.ly/31R7ILK>



IRP Steering Committee Members





BACKGROUND

仙台防災枠組2015-2030が中間点を迎えるにあたり、国連総会では中間レビューの実施が決定され、中間レビューにおいて枠組の主要項目の一つである「Build Back Better(より良い復興)」に向けた進捗状況を評価することが言及されました。世界規模のCOVID-19パンデミック、気候変動、そして持続可能な開発目標達成状況の後退は、現在までのBuild Back Better(より良い復興)における進捗状況と課題を評価し、仙台防災枠組の優先行動4の実施を進捗させるために必要な調整とアクションの検討を行う必要性を強調しています。

国際復興フォーラム2022では、仙台防災枠組の優先行動4の実施状況を振り返り、残された課題を議論するとともに、継続的な進展に向けた前向きなアジェンダ設定を目指します。また、このフォーラムでは、地域コミュニティがより早く、より公平に、より強靱な復興が可能となるよう、「Build Back Better(より良い復興)」を進捗させるための重点的なテーマについて、政策立案者や専門家がこれまでの振り返りとともに、将来を見据えた議論を行います。

国際復興フォーラム2022は、これらの目的のために2つのパネルディスカッションを行います。

1. 仙台防災枠組実施に向けたBuild Back Better(より良い復興)における過去6年間の進捗状況と課題の評価

パネルディスカッション1では、「Build Back Better(より良い復興)」を実現する上での進捗状況、成果、成功要因、課題を評価し、それらが災害復興における政策、ガバナンス、プログラム、及び成果の改善にどのように貢献してきたかについて議論します。

2. 復興を通じたレジリエンス構築のためのシステムの再設計:2030年に向けてBuild Back Better(より良い復興)をより進めるためのアジェンダ設定

パネルディスカッション2では、複数のハザードやシステム・リスク(連鎖的に存在する多様なリスク)が存在する中で、「Build Back Better(より良い復興)」を進捗させるための優先事項や選択肢を議論し、災害復興において変革を起こしレジリエンスを高める優良事例を特定します。



AGENDA:

開会

14:00 - 14:20	<p>開会挨拶 ロナルド・ジャクソン IRP運営委員会議長 国連開発計画(UNDP) 危機対応局 防災・復興・レジリエンス強化チーム ヘッド</p> <p>主催者挨拶 内田 欽也 内閣府 大臣官房審議官(防災担当)</p> <p>齋藤 元彦 兵庫県知事</p> <p>水鳥 真美 (ビデオメッセージ) 国連事務総長特別代表(防災担当)兼 国連防災機関長</p>
---------------	--

基調講演1

14:20 - 14:40	<p>竹谷 公男 国際協力機構(JICA) 防災分野特別顧問</p>
---------------	--

プレゼンテーション

14:40 - 14:50	<p>マーク・ゴードン 国連防災機関(UNDRR) 仙台防災枠組中間レビュー・シニアコーディネーター</p>
---------------	--

パネルセッション1:仙台防災枠組実施に向けたBuild Back Better(より良い復興)における過去6年間の進捗状況と課題の評価

14:50 - 15:55	<p>モデレーター: クリステル・プラット アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構(OACPS) 環境・気候行動局 次長</p> <p>パネリスト: 1. エリザベス・ライリー カリブ災害緊急管理機関(CDEMA) 事務局長</p> <p>2. アニール・ボカレル ネパール政府 国家防災庁 長官</p> <p>3. リテア・ピウコト 太平洋共同体(SPC) リスク削減チームリーダー</p> <p>4. ネイサン・ンコモ ジンバブエ政府 地方行政・公共事業・住宅省 市民保護局長代理</p>
---------------	--

基調講演2

16:05 - 16:25	<p>シンシア・スピシャー アメリカ合衆国 連邦緊急事態管理庁(FEMA) 副長官(政策・プログラム分析担当)</p>
---------------	---

パネルセッション2:復興を通じたレジリエンス構築のためのシステムの再設計:2030年に向けてBuild Back Better(より良い復興)をより進めるためのアジェンダ設定

16:25-17:20	<p>モデレーター: パオラ・アルブリート 国連防災機関(UNDRR) 政府間プロセス、機関間協力及びパートナーシップ部長</p> <p>パネリスト: 1. ラメッシュ・サブ라마ニヤム アジア開発銀行(ADB) 東南アジア地域担当局長</p> <p>2. フィリピン政府*</p> <p>3. アレクサンドラ・ニコルズ オーストラリア政府 国家復興・レジリエンス庁 政策設計部 課長(戦略・国際政策担当)</p> <p>4. 南部アフリカ開発共同体*</p>
-------------	---

総括・閉会

17:20-17:30	<p>パオラ・アルブリート 国連防災機関(UNDRR) 政府間プロセス、機関間協力及びパートナーシップ部長</p> <p>村上 威夫 IRP運営委員会共同議長 内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)</p>
-------------	--

*予定

使用言語:
日本語・英語(日英同時通訳有り)



ひょうご安全の日推進事業



REGISTRATION:

参加申し込み方法は、こちらの二次元バーコードを読み込むか、リンク先よりアクセスし、登録フォームにご記入ください: <https://bit.ly/31R7ILK>

国際復興フォーラムについてのご質問は、メールまたはお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせ先メールアドレス: irpforum@recoveryplatform.org

IRP事務局電話番号: 078-262-6041

※会場・オンライン共に事前登録が必要です。

※新型コロナウイルス感染症対策の為、会場での参加は日本国内に居住されている方限定で、定員90名・先着順となります。

会場参加に関するご案内をご覧ください。

※事前登録なし又は登録時に会場での参加を選択されていない方の会場への入場はお断りさせていただきますので、ご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、会場参加を中止させていただく可能性があります。予めご了承ください。

